

|   |  |  |  |                      |                    |             |       |
|---|--|--|--|----------------------|--------------------|-------------|-------|
| 所属  | 通信教育科  | 職名   | 准教授  | 氏名                   | 贅川 信幸              | 大学院の授業担当の有無 | (有・無) |
| 授業科目  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| 社会福祉学部  | 精神保健福祉援助技術総論, 精神保健福祉援助演習, 精神保健福祉援助実習, 精神保健福祉援助実習指導, 精神保健福祉論 (支援環境開発論)                |  |  |                      |                    |             |       |
| 専門職大学院  | スーパービジョンI, II, III, IV, 実践研究・サービス評価8(福祉プログラム評価各論II), 特別講座5,6(研究課題設定論)                |  |  |                      |                    |             |       |
| 大学院博士前期   | 研究課題設定論, プログラム評価各論, 社会福祉学研究演習, 実習, 研究発表方法論演習, 論文指導, 福祉プログラム評価実習, 福祉プログラム評価特別講義       |  |  |                      |                    |             |       |
| 大学院博士後期   |  |  |  |                      |                    |             |       |
| 通信教育科   | 精神保健福祉の理論と相談援助の展開, 精神保健福祉援助実習, 精神保健福祉相談援助の基礎(基礎・専門), 精神保健福祉援助演習(基礎・専門), 精神保健福祉援助実習指導 |  |  |                      |                    |             |       |
| 教育活動  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| 教育実践上の主な業績  |  | 年月日  | 概 要  |                      |                    |             |       |
| 1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)<br>精神保健福祉援助実習・演習・実習指導(兼任)  |  | 2010~2016年度  | 実習計画書および実習報告書作成において、グループ学習を組み込み、学生同士の議論により知見や考察が深まるよう工夫した。その際、学生同士の議論が進むようコーディネートをを行った。演習では主に心理教育および社会生活技能訓練(SST: Social Skills Training)を担当。基礎知識に関する講義に加え、グループセッション実演および学生自身のロールプレイにより、内容や支援者としての役割の理解を深化させるよう工夫した。 |                      |                    |             |       |
| プログラム評価各論 (兼任)  |  | 2010~2016年度  | 精神保健福祉医療分野の科学的根拠に基づく実践(EBP: Evidence-Based Practices)におけるプログラム評価の意義や活用方法等を、最新の知見も取り入れて講義。ひとつのプログラムを取り上げ、その諸情報から効果要素を抽出するワークとそれに基づく議論により、プログラム評価の意義や活用方法について理解を深化させるよう工夫した。   |                      |                    |             |       |
| 2 作成した教科書、教材、参考書<br>社会資源の調整・開発にかかわる社会調査(第9章1節~3節). 日本精神保健福祉士養成校協会(編): 新・精神保健福祉士養成講座6・精神保健福祉に関する制度とサービス. 中央法規出版: pp264-277, 2012.02. |  | 2012.02(初版)<br>2017.02(第5版)                              | 精神保健福祉士養成のテキストを執筆(初版, 第5版・分担著)。ソーシャルワーカーである精神保健福祉士に求められる社会開発を、社会調査に基づいて行う意義、その際に留意すべき倫理的側面などを触れた。  |                      |                    |             |       |
| 3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等   |  |  |  |                      |                    |             |       |
| 4 その他教育活動上特記すべき事項<br>一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟 事務局次長, 大学院委員会委員・兼事務局<br>認定社会福祉士認証・認定機構 認定社会福祉士制度スーパーバイザー                                    |  | 2011.05~現在(事務局次長)<br>2014.05~現在(大学院委員会)<br>2015.04.01~現在 | 大学院委員会では、社会福祉系大学院の教育の現状および修了生の状況などの調査を行い、それらを踏まえた大学院教育のあり方を検討した。<br>認定社会福祉士認証・認定機構より認定社会福祉士制度スーパーバイザーとして認定を受け、スーパービジョンを実施した。   |                      |                    |             |       |
| 研究活動  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| 著書・論文等の名称   | 単著・共著の別  | 発行または発表の年月   | 発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称   | 編者・著者名(共著の場合のみ記入)    | 該当頁数               |             |       |
| < 著書・編著書 >  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| 精神保健福祉士国試対策模擬問題集2017  | 共著   | 2016.08  | 中央法規   | 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 | 問題共同作成のため、執筆箇所抽出不可 |             |       |
| 新・精神保健福祉士養成講座6 精神保健福祉に関する制度とサービス(第5版)<br>・初版(2012)を基に加筆・修正。   | 共著   | 2017.02  | 中央法規   | 日本精神保健福祉士養成校協会(編)    | pp264-277          |             |       |
| < 研究論文・研究ノート >  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| < 調査・研究報告書 >  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| < 翻訳 >  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| < その他の執筆活動 >  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| 学会等および社会における主な活動  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| < 学会報告 >  |  |  |  |                      |                    |             |       |
| 日本心理教育・家族教室ネットワーク第20回研究集会(新潟大会). [新潟]   | 分科会「家族心理教育の立ち上げと維持の仕方」のコーディネータを担当。2017.02.25   |  |  |                      |                    |             |       |

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <講演活動>                       |   |
| 日本心理教育・家族教室ネットワーク            | 標準版家族心理教育研修会 in 岡山. [岡山] (2016.09.03-04)<br>アドバイザーとして研修会をコーディネート  |
| 日本心理教育・家族教室ネットワーク            | 標準版家族心理教育研修会 山形で. [山形]. (2017.2.11-12)<br>協力講師として参画。  |
| おけがわ福祉会                      | 精神障害をもつ人の家族支援・家族会の可能性<br>設立10周年記念式典における記念講演 (2017.03.03)  |
| 岡山心理教育研究会, 日本心理教育・家族教室ネットワーク | 標準版家族心理教育研修会 in 岡山 フォローアップ研修会. [岡山] (2017.03.05)<br>アドバイザーとして参画。  |
| <所属学会>                       |   |
| 日本心理臨床学会                     |   |
| 日本家族研究・家族療法学会                |   |
| 日本心理教育・家族教室ネットワーク            | 第11回全国研究集会: 企画委員, 実行委員 (2007年～2008年)<br>認定家族心理教育インストラクター (2009年12月～至現在)<br>運営委員 (2011.02～至現在)   |
| 日本精神衛生学会                     | 第25回大会実行委員 (2009年8～11月)   |
| 日本精神障害者リハビリテーション学会           | 精神・神経科学振興財団: 日本語版 Evidence-Based Practices Implementation Resource Kit 製作<br>小委員会[編集担当]. (2007～2009年)                                   |
| 日本病院・地域精神医学会                 |   |
| 認知リハビリテーション研究会               |   |
| 日本精神神経学会                     |   |
| 日本社会福祉学会                     | 関東部会運営委員 (2011.01～至現在), 2013年度研究大会実行委員長.<br>臨時査読委員 (2011.09～2012.02), 査読委員 (2012.04～至現在)  |
| 日本学校メンタルヘルス学会                | 査読委員 (2010.10～至現在)  |
| 日本評価学会                       | 評価士養成講座講師 (2013, 2014年度)  |
| <社会的活動>                      |   |
| 一般社団法人日本社会福祉学会関東部会           | 運営委員 (2011.01～現在)<br>2013年度研究大会実行委員長。   |
| 日本心理教育・家族教室ネットワーク            | 運営委員 (2011.02～現在)   |
| 一般社団法人 日本社会福祉教育学校連盟          | 2012.05～2017.03 事務局次長, 大学院委員会事務局・兼委員 (2014.05～2017.03), 国際委員会事務局 (～2014.05), 社会福祉専門教育委員会ワーキンググループ (～2013.05), 運営委員事務局 (2014.05～2017.03) |
| 日本精神障害者リハビリテーション学会           | 理事 (2015.01～)   |
| 川崎市                          | 川崎市自殺対策評価委員会委員 (2015.04～)   |